

## 意見等募集の結果について

案 件	茨木市街路樹再整備方針（案）について
結果の公表場所	ホームページ 建設管理課担当窓口（市役所南館4階）、 情報ルーム（市役所南館1階）
意見募集期間	令和8年2月24日から令和8年3月20日まで
意見提出件数	4 人 8 件 (うち賛否のみ 0件、対象外 0件)
意見募集時 公表資料	・茨木市街路樹再整備方針（案） ・茨木市街路樹再整備方針（案）概要版
結果公表日	令和8年6月1日
担当課	建設部 建設管理課 総務係 電 話：072-620-1650 F A X：072-625-3181 Eメール：kensetsukanri@city.ibaraki.lg.jp

「茨木市街路樹再整備方針(案)」について提出された意見等及び市の考え方

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
1	-	4-3-3. 実施方策3:地域特性を反映した街路樹景観形成 (具体施策)	<p>現在、東西通りの花壇は低木植栽や季節ごとの花々を植える方策がとられていますが、繁殖力の強い雑木が多数入り込み除去できない状況になっています。</p> <p>この雑木類はかなり大きくなるものが多く、その多くが車道側にはみ出しており、特に自転車走行帯への影響が大きいです。</p> <p>夏場は葉が繁茂することで視認性が低下し、近隣駐車場からの安全確認ができないことがあり、冬場は残った太い枝が自転車の通行を妨げて、車道側へ避けて走行する必要があり大変危険です。</p> <p>植栽への空き缶やペットボトル等のゴミの投棄も後をたたない状況です。</p> <p>何より折角の歩道が花壇によって幅を狭められ、歩道通行の妨げとなっており、おにクル以降増加した通行量に適していない状況です。</p> <p>季節ごとの花々のメンテナンス等の手間も鑑みても、花壇は早急に撤退すべきと提案させていただきます。</p>	<p>東西通りは、茨木市の玄関口として中心市街地にふさわしい街路樹景観の形成と、だれもが安全かつ快適に通行できる空間の確保を目指しております。</p> <p>ご指摘いただきました内容は個別の路線に対するご意見として承り、花壇を含めた路線ごとの具体的な整備方法を定める際の参考にさせていただきます。</p>
2	-	4-3-3. 実施方策3:地域特性を反映した街路樹景観形成 (具体施策)	<p>現状、東西通りでは高木としてアラカシが主な街路樹として植栽されています。</p> <p>アラカシはメンテナンスが楽でトラブル率が低いのは理解できますが、茨木市のメインストリートとして、東西通りに植栽する高木としては甚だ彩りに欠けるものであり、シンボルロードとしての格を下げてしまっていると思われまます。</p> <p>市外から来られた方々が一番目にする通りの植栽であるからには、他の通りとは少し違う彩りを持った物にするべきと考えます。</p> <p>花壇を無くしてメンテナンス効率をあげる事と併用すれば落葉紅葉樹でも構わないのでは無いでしょうか？</p>	<p>東西通りは、茨木市の玄関口として中心市街地にふさわしい街路樹景観の形成と、だれもが安全かつ快適に通行できる空間の確保を目指しております。</p> <p>ご指摘いただきました内容は個別の路線に対するご意見として承り、樹種決定の参考と花壇を含めた路線ごとの方針を定める際の参考にさせていただきます。</p>
3	28	4-1. 目標	<p>(案)P28の“3.茨木市に求められる街路樹の将来像”とありますが、P30の4-1.目標の『歩いて心地よい地域に開かれた街路空間』(削除:の創出)の方が将来像としてふさわしいと思います。</p> <p>P28の将来像①～⑤は、将来像を実現するための施策に考慮しなければならない要求事項と思います。</p>	<p>ご指摘をふまえ、文言の修正を検討いたします。</p>
4	-	1.計画の目的と概要	<p>“1.計画の目的と概要”および“2.茨木市の街路樹”はよく調査された結果を踏まえて作成されています。ただし、調査に対する統計表示に路線数で表している箇所があるのは、不適切かなとも思います。1路線中で対象の高木街路樹が1本でも100本でも1路線カウントとなってしまいます。(何か意図があったのでしょうか) 過大評価か過少評価なのかすら分かりません。</p>	<p>周辺状況を考慮し、路線ごとの整備方針を定めることで、統一感のあるまちなみを形成することを目指していることから、路線数で表しているものです。</p>

「茨木市街路樹再整備方針(案)」について提出された意見等及び市の考え方

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
5	10	2-2-4.街路樹機能のニーズの変化	<p>P10の“2-2-4.街路樹機能の社会ニーズの変化”の「社会ニーズの変化」は問題のすり替えと思います。タイトル以下本文はその通りと思いますが、街路樹に対するニーズは以前から変わってはならず、むしろ高まっている(強くなっている)かと感じます。これまで同じスタンスで望めない(対応できない)のは、交通や人口などの社会環境や財政などの変化だと思います。だれも街路樹を減らすことを望んでいません。交通量は減ってほしいですが。</p> <p>全体的に上手く纏まっていますが、暗に「街路樹を増やす時代は終わりました。これからは質を向上させようと思いますが、財政も厳しいので老木は撤去して将来かかる管理コストの低減を図っていきます。よって目標や計画は明文化しますが、対策は控えめです。」と感じ取れます。</p>	<p>本方針では、単に街路樹を減らしていくのではなく、だれもが安全かつ快適に通行できる空間の確保と地域特性を踏まえた街路樹景観の形成の両立を目指しており、路線ごとに方針を策定することで市内一円ではなく地域ごとの特性やニーズに応じた整備ができるものと考えております。</p>
6	-	4-3-3.実施方策3:地域特性を反映した街路樹景観形成(具体施策)	<p>概要版(案)より、桜通り・川端通りは市役所へ通じる【地域緊急交通路】であり、その名の通り【桜並木路線】かつ【景観向上路線】でもあると思います。つまり“重点検討路線の設定”要件をすべて満たしております。私的領域になるかもしれませんが、その道路沿いの我が家の前にも桜の老木がありましたが、一昨年に倒木の危険性から伐採され、現在はカラーコーンに囲まれてその後の対策待ちになっています。あまり高木にはならない病気に強い桜と植え替えていただけると信じています。付近にはすでに伐採・根撤去・植樹柵のアスファルト舗設がなされている桜並木跡もあります。植樹柵を少し移動(幅員方向へ)すれば2m確保できる場所もあります。それらも再度植樹することが、本件の街路樹再整備方針に合致するのではないのでしょうか？</p>	<p>重点検討路線につきましては、本編P47の重点検討路線位置図に図示しております。桜通り・川端通りは【桜並木路線】として位置付けております。また、桜並木路線では地域に親しまれる健全な桜景観創出に向けて、桜並木のあり方の見直しを目指しております。</p> <p>なお、ご指摘いただきました内容は個別の路線に対するご意見として承り、樹種決定の参考と路線ごとの具体的な整備方法を定める際の参考にさせていただきます。</p>

「茨木市街路樹再整備方針(案)」について提出された意見等及び市の考え方

No.	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
7	-	4-3-3.実施方策3:地域特性を反映した街路樹景観形成 (具体施策)	<p>茨木市街路樹再整備方針_概要版の実施方策3の重点検討路線の設定より桜並木路線に関して以下のとおり私見があります。自宅は川端通り沿いにあり、元々あった桜の街路樹が毎年の楽しみでありましたが、現在は一部の意見と市の課相互間の手違いから植樹樹が舗装されてしまいましたので桜の再植樹を希望します。歩道の樹木は視覚的な緑や香りでストレスを低減し、副交感神経を優位にする高い【癒し効果】をもたらすことが科学的にも証明されているそうです。</p> <p>桜通り及び川端通りはその名の通り桜並木が道の両サイドで見られ、茨木市のシンボルロードですから、老木となって伐採の憂き目にあった桜の木は植え替えて数が減らないようにお願いします。</p>	<p>桜並木路線では地域に親しまれる健全な桜景観創出に向けて、桜並木のあり方の見直しを目指しております。</p> <p>ご指摘いただきました内容は個別の路線に対するご意見として承り、樹種決定の参考と路線ごとの具体的な整備方法を定める際の参考にさせていただきます。</p>
8	-	4-3-3.実施方策3:地域特性を反映した街路樹景観形成 (具体施策)	<p>46ページに記載されている、桜並木路線について。</p> <p>田中町2号線の写真が載っているが、まさに自宅付近の通りである。老木化、根上がり問題、安全面での課題については、理解できる。</p> <p>現在いくつかの場所の桜が撤去されコンクリート舗装されているが、根上がりや倒木の恐れを拭う安全面での保障はされていると思う。ただ、子育て世代だと思いが、ママチャリなどの電動自転車のスピードが非常に速く、危険を感じるが多々ある。我が家にも小さな子どもが4人いるので、散歩させている際に安全に安心して歩かせているとは言い難い。</p> <p>残っている桜の木の根元にたんぼぼが咲いていたり、春には桜が咲くので、子どもと春見つけなどをしながら、会話を広げるのがとても楽しい。そのため、桜が完全になくなることは、景観としては非常に寂しい。</p> <p>また、準工業地帯であるため、空気の汚れや騒音、大型車の往来等、地域住民にとってはマイナスになる要素もある中での居住であり、ただの木ではなく、桜があることで癒し効果もあると考えている。</p> <p>ぜひ、大木にならない程度のもので構わないので桜を残してほしい。そして植え替えてほしい。</p> <p>緑地公園側も同様で、春の季節は特に、花見ができ、老若男女問わず楽しめる環境がある。春には桜、5月からは新緑、秋には紅葉と季節の移ろいを感じながら生活している。また、子どもを連れての散歩コースになったり、お年寄りの方は健康維持のために体を動かしたりしている。また、図書館も近いので、温かい日にはコーヒ一片手に読書もできる。ぜひ緑地公園についても、現在の形をなるべく変えずに、危険箇所については植え替えをしながら維持してほしい。</p>	<p>桜並木路線では地域に親しまれる健全な桜景観創出に向けて、桜並木のあり方の見直しを目指しております。</p> <p>ご指摘いただきました内容は個別の路線に対するご意見として承り、樹種決定の参考と路線ごとの具体的な整備方法を定める際の参考にさせていただきます。</p>